

自動化設備規則

自動化設備規則

2017 年 第 1 回 一部改正

2017 年 6 月 1 日 規則 第 26 号

2017 年 1 月 30 日 技術委員会 審議

2017 年 2 月 20 日 理事会 承認

2017 年 5 月 9 日 国土交通大臣 認可

規則の節・条タイトルの末尾に付けられた
アスタリスク (*) は, その規則に対応する
要領があることを示しております。

2017 年 6 月 1 日 規則 第 26 号
自動化設備規則の一部を改正する規則

「自動化設備規則」の一部を次のように改正する。

3 章 機関集中監視制御設備

3.3 安全措置の追加規定

3.3.2 主機又は可変ピッチプロペラ

表 3.1 を次のように改める。

表 3.1 ディーゼル主機（含歯車装置）

異常状態の種類			備考
温度	(省略)		
圧力	(省略)		
その他	シリンダ冷却水中の油分	H	シリンダ冷却水が燃料又は潤滑油の熱交換器に使用される機関の場合
	ピストン冷却媒体流量各シリンダ出口	L	クロスヘッド形機関の場合。Non-flow で可。 当該流量を検出できない構造のものにあつては、代替の警報で可。
	シリンダ油流量各注油器出口	L	Non-flow で可
	掃除空気室内の水位	H	代替の警報で可
	ロングウェイ	○	自己逆転するディーゼル機関の場合
	遠隔始動失敗	○	
	燃料油噴射管漏油	○	
	過給機回転数	H	新形式又は使用実績のない、 <u>鋼船規則 D 編 2.1.2 に規定される B 類過給機及び C 類過給機にのみ適用</u>

注：H 及び L はそれぞれ高及び低を意味する。また、○は異常状態になったことを意味する。
(以下、表 3.1 から表 3.9 において同じ。)

3.3.4 発電装置

表 3.4 を次のように改める。

表 3.4 発電装置

異常状態の種類		備考	
発電用ディーゼル機関			
温度	(省略)		
圧力	(省略)		
その他	燃料油噴射管漏油	○	新型式又は使用実績のない，鋼船規則 D 編 2.1.2 に規定される B 類過給機及び C 類過給機にのみ適用
	過給機回転数	H	
発電用蒸気タービン			
温度	(省略)		
圧力	(省略)		
主発電機			
電気	(省略)		
推進用発電機			
電気	(省略)		
温度	(省略)		
圧力	(省略)		

3.3.6 補機駆動用原動機

表 3.7 を次のように改める。

表 3.7 補機駆動用原動機

異常状態の種類			備考	
ディーゼル機関				
温度	(省略)			
圧力	(省略)			
その他	燃料油噴射管漏油	○	<u>新形式又は使用実績のない，鋼船規則 D 編 2.1.2 に規定される B 類過給機及び C 類過給機にのみ適用</u>	
	過給機回転数	H		
蒸気タービン				
温度	(省略)			
圧力	(省略)			

附 則

1. この規則は、2017年7月1日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に承認申込みがあったディーゼル機関であって、施行日前に建造契約*が行われた船舶に搭載されるディーゼル機関にあつては、この規則による規定にかかわらず、なお従前の例による。

* 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement(PR) No.29 に定義されたものをいう。

IACS PR No. 29 (Rev. 0, July 2009)

英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
 - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
 - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあつては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
 - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
 - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。
3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があつた場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考：

本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。